

関西四江会の歴史

2017年11月4日

宇野 貞一

正確に記憶しているわけではありませんが、甲斐義明君が発起して熊高27年卒業で関西在住者を調べて、連絡を取り、昭和52年末（1977年）に梅田の中華料理屋で7名程が集まり会食したのが始まりです。毎年集まろうを合言葉に同窓生の輪を広げて行きました。集まる場所は、甲斐君が顔を聞かして、道頓堀の食い倒れ店、須田君のスナック、阿部由之君が支配人をしていた、梅が枝町の東興ホテル、その翌年は、亀田廸君が副社長の栄泉不動産会社経営のアークホテル大阪でも皆が集まって会合を持って、四江会の絆を深めました。その後は、新大阪のアートレイクホテル、と毎年転々と場所を変えて、集まっていました。

多くの同期関西在住者が、分かったのは、関西江原会の名簿が発刊されたことが、寄与しています。奇しくも平成7年（1995年）阪神神戸淡路大震災に見舞われ大変な被害に遭いました。その年の5月被害に遭った同窓を励ます会として、大阪天満の熊本出身のママが経営する小料理屋（阿蘇）で、これも甲斐君の肝いりで、会合しました。出席者は甲斐義明、浜田啓介、森本茂三郎、林田定、宇野貞一、阿部由之、渡辺稔、坂尾英明、の諸兄でした。2、3年はこの阿蘇で、会合しました。

平成10年頃からは、これも甲斐君の世話で、箕面温泉観光ホテルにて四江会の集いを開催する事になりました。

平成13年に、甲斐君が咽喉の病にかかり、世話するのが出来ない事になり、その後を私宇野が引き継ぐ事になりました。開催日が流動的だったので、皆さんの同意を得て毎年5月第3月曜日に関西四江会を開催する事に決まりました。

年毎に、体調不良等で、出席者が減っています。最盛期には、阿部由之、磯海孝、宇野貞一、浅木健、鬼木甫、甲斐義明、桑原寿宏、坂尾英明、坂野登、白木壽郎、茶谷憲、中嶋久夫、浜田啓介、林田正光、林田定、藤井英世、縦木繁人、森田鉄也、森本茂三郎、渡辺稔、の諸兄が出席していました。（森田鉄也、林田正光、渡辺稔、坂尾英明の諸兄は今は亡き人となりました）。そこで考えたのが、関西在住の同窓ではなくとも、関西四江会に出席したい希望がある同窓生には、案内を出して出席を募ろうと企画しました。2016年には熊本福岡から3名の希望があり11名の集いとなりました。2017年は一念発起して、京都開催を企画して、九州、関東の同窓にお誘いをかけ品行方正な18名が、アークホテル京都に集い、大いに盛り上がったのは、記憶に新しいことです。これからも、年に一度の集まりですが、続けて行きたいと思っています。